



## 野口英世アフリカ賞担当室

- 1927年（昭和2年）、アフリカ西海岸で発生した黄熱病の研究のためガーナに渡り、研究中に自らも黄熱病に感染し、翌年わずか51歳で現地で亡くなった野口英世博士の功績に因み、平成18年7月閣議決定にて野口英世アフリカ賞が創設されました。本賞の授与は、野口博士の志を引き継ぎ、アフリカで蔓延している感染症等の疾病対策のために貢献し顕著な功績を挙げた個人・団体を顕彰し、アフリカに住む人々、ひいては人類全体の保健と福祉の向上を図ることを目的としています。

- 内閣府が関係省庁（外務省、文部科学省、厚生労働省）による協力の下、賞の実施に係る業務を行っています。

- 本賞授賞式は創設以来、第3回賞まで5年毎のアフリカ開発会議（TICAD）開催に合わせ日本国内で実施されてきましたが、平成25年からTICADが日本とアフリカで3年毎交互開催となったことから、本賞も令和元年からそれに合わせた実施となりました。

平成20年5月 第1回授賞式（横浜）

平成25年6月 第2回授賞式（横浜）

令和元年8月 第3回授賞式（東京）

令和4年8月 第4回授賞式（チュニジア）

- 野口英世アフリカ賞ホームページ

- 日本語

<https://www.cao.go.jp/noguchisho/index.html>

- 英語

<https://www.cao.go.jp/noguchisho/english/index.html>

Cabinet Office

## 野口英世アフリカ賞

対象分野は医学研究・医療活動の2分野です。アフリカ開発会議（TICAD）の開催にあわせ授賞式及び記念晩餐会を実施し、賞牌・賞状・賞金（1億円）を授与しています。

- 受賞者（※肩書きは受賞時のもの）

(1) 第1回野口英世アフリカ賞受賞者

・医学研究分野



ブライアン・グリーンウッド博士（英国）

・医療活動分野



ミリアム・ウエレ博士（ケニア）

(2) 第2回野口英世アフリカ賞受賞者

・医学研究分野



ピーター・ピオット博士（ベルギー）

・医療活動分野



ルックス・G・クティヤ博士（ウガンダ）

(3) 第3回野口英世アフリカ賞受賞者

・医学研究分野



ジャン＝ジャック・ムンバ博士（コンゴ民主共和国）

・医療活動分野



フランシス・ジャバヌ博士（ウガンダ）

(4) 第4回野口英世アフリカ賞受賞者

・医学研究分野



サリム・S・アブドゥル・カリム博士（南アフリカ）  
南アフリカ・エイズ研究プログラム・センター（CAPRISA）所長



カライシャ・アブドゥル・カリム博士（南アフリカ）  
南アフリカ・エイズ研究プログラム・センター（CAPRISA）次長

HIV/エイズ感染症対策への世界的貢献と医療人材育成、並びに新型コロナウイルス感染症対策での重要な役割。

・医療活動分野



ギニア虫症撲滅プログラム

史上2番目のヒト疾患の撲滅を目的に、アフリカ関係者とのパートナーシップの下、米カーターセンターが主導する国際的なキャンペーン。カーターセンターとアフリカ関係者のパートナーシップによるギニア虫症のほぼ完全な撲滅の達成。